

## オーガニックで未来へつなぐ

かごしま有機生産組合の概要と取組み



有限会社 かごしま有機生産組合 有馬 亮



#### かごしま有機生産組合

有機農業と自然生態系に調和した生き方・暮らし方を広げたい。 「有機農業に取り組む生産者の輪を広げよう」と1984年、有機農産物の組合としてスタート。 今では、160名を超える生産者の団体となりました。

#### 企業プロフィール

組合代表 有馬 亮 所在地

鹿児島県鹿児島市五ヶ別府町3646

生産農家

162戸

うちJAS有機認証済み102戸 認証済み圃場面積・・約275ha (2019年1月時点)

野菜約100品目

年間栽培品目 果樹(有機グレープフルーツ・有機ポンカンなど)約20品目

有機米・有機黒米・雑穀・有機紅茶・緑茶など

人参 約300 t じゃが芋 約200 t さつまいも 約200 t、

大根 約20万本・・・・他多数

事業開始

1984年 (昭和59年)

年間事業高

9億2千万円 (2023年9月時点)







#### 1978年 5月 鹿児島県有機農業研究会結成

1984年 5月 かごしま有機農業生産者組合立ち上げ

1991年 7月 「有限会社かごしま有機生産組合」法人設立

1992年 1月 地球畑 西田店オープン

1993年12月事務所&出荷センター完成

2001年 3月 地球畑 荒田店オープン

2006年12月地球畑カフェ草原をわたる船オープン

2008年 5月 地球畑 谷山店オープン

同年7月 直営の大口農場スタート

2009年 4月 鹿児島有機農業支援センター設置 研修事業開始

同年 4月 育苗ハウス建設 育苗事業開始

2012年7月直営の喜入あさやけ農場スタート(現、南薩センター)

2013年 8月 EC事業 (ネット通販) スタート

2017年 4月 姶良冷蔵庫建設

同年11月海外事業部開設、ネパール支援事業スタート

2018年 4月 輸出事業スタート

2019年 4月 農林水産大臣賞(有機農業・環境保全型農業部門)受賞

2021年12月南種子町と「『有機農業』を軸とした地域活性化に関する包括連携協定」

2022年 4月 種子島事業部 設置

同年12月ベビーフード加工場 新設

同年12月南種子町、井関農機と「スマート技術を活用した環境にやさしい農業に関する連携協定」



#### 主な事業の内容

生産事業

生産農家は奄美大島、種子島、屋久島を含む県内各地に広がっています。 また、鹿児島県内に留まらず熊本・宮崎にも生産農家がおり、年間を通して生産・出荷を行っています。

**卸売事業** 

卸販売として、北海道から沖縄まで日本各地に発送。 生産者からの農産物を当組合の販売事業として全国各地に出荷・販売を行っています。

小売り事業

鹿児島市内ではかごしま有機生産組合直営店「地球畑」の 3 店舗にて有機野菜や加工品など、こだわりの商品を販売しています。 地球畑カフェ「草原をわたる船」では有機野菜をふんだんに使用した料理やサラダバーを御用意しています。

有機農業技術支援

2009年より有機農業技術支援センターを設立し、有機農業を志す生産農家のバックアップと、研修生の育成および有機種苗の供給事業に取り組んでいます。

- 有機農産物加工事業 地元の有機食材を活かし「素材に負けない、加工でごまかさない」商品作りに取り組んでいます。 2013年、自社プライベートブランドを展開、消費者目線で、喜ばれる商品作りを行っています。
- インターネット通販事業 旬の新鮮なお野菜を産地直送でお届けしています。どの町にでもわたしたちの作った有機野菜が購入できる、生産者の想いを届ける ために2015年に地球畑公式オンラインショッピングを立ち上げ多くの有機野菜と有機加工食品を販売しています。
- 海外事業部

1000年続く農業を、土地だけではなく地域社会に貢献することをビジョンとしているかごしま有機生産組合。 現在、輸出国9か国ではありますが、今後、輸出だけでなく、現地案件調査や海外の人と積極的に交流を図りつつ、有機農業の発展に力を尽くします。



# 生産体制強化の取組み ~品目部会の開催~品目部会の様子

Kagoshima Organic Farmers Assoc.



さつまいも部会



人参部会



葉茎菜部会



果菜部会



果樹部会

品目ごとに部会を作り、定期的に集まり 品質向上の勉強会を行います。

実地での研修会では生産者が持ち回りで自身の圃場を案内し、課題を相談したり、新規就農者にアドバイスを行ったりします。ちょっとした工夫や気付きを得ることができ、とても勉強になります。



## 生産体制強化の取組み~地域支部会の開催~ 支部会の様子

Kagoshima Organic Farmers Assoc.



南薩支部会



種子島支部会



北薩支部会



宮崎支部会

8か所の地域で支部会を構成 し、年2回集まり情報共有や意 見交換を行っています。

姶良支部、蒲生支部、霧島 支部、北薩支部、南薩支部、 大隅支部、種子屋久支部、 宮崎支部

2022年には宮崎県に宮崎支 部ができました。



# 生産体制強化の取組み ~作付会議の開催~作付会議・総会

Kagoshima Organic Farmers Assoc.

年2回 開催 (全生産者参加)

- ·春夏野菜作付会議·総会 1月
- •秋冬野菜作付会議 7月

毎年2回生産者が一堂に会し、半年分の作付を話し合います。 組合が推していきたい品目の増産を呼び掛けたり、生産者からは 価格改定の要望があったり、活発な意見交換が行われます。 また、品目ごとに集まり情報交換を行い技術向上を図ります。









## 新規就農者支援の取組み ~有機農業支援センター~ 有機農業技術支援センター

Kagoshima Organic Farmers Assoc.

地域の有機農業の推進を目的として、農林水産省の有機農業総合支援対策の地域有機農業施設整備事業の採択第1号として 建設されたもので、宿泊研修施設、育苗施設、土壌分析室などを兼ね備えた施設です。

センターは、有機農業に真剣に取り組み、就農もしくは有機農業への転換を志す全国の方々に、広く門戸を開きます。1年間の研修を 通じて有機農業について学んでもらい、有機農業技術等を身に付け、有機農業に携わる方を1人でも多く育成し、地域の有機農業の 推進に貢献したいと考えています。







#### 新規就農者支援の取組み ~ 直営農場~ 生産部門 直営農場

鹿児島県の北に位置する伊佐市に大口農場、鹿児島県の中央部の姶良市に育苗ハウス、錦江湾から峠を上がった知覧町に南薩センター、種子島の南に位置する南種子町に種子島事業部の4箇所に農場を持ち、その土地や気候に合った野菜を栽培しています。有機農産物の更なる普及、生産者の高齢化に伴う人手不足に対応出来るよう、スタッフが日々生産に励んでいます。

大口農場 (2008年7月~)

育苗事業 (2009年4月~)

知覧農場 (2012年7月~) (南薩センター)

種子島事業部 (2022年4月~)









#### 新規就農者支援の取組み ~直営農場~

2021年のプレスリリース

#### 南種子町と有機農業を軸とした地域活性化に関する包括連携協定を締結。

有限会社かごしま有機生産組合は、2021年12月20日に、南種子町と有機農業を軸とした地域活性化に関する包括連携協定を締結しました。 「有機農業の普及を図るとともに、荒廃農地の復旧や新規就農者の確保を通じて地域の活性化を図ること」及び「有機農業で持続可能なまちづくり目指すこと」を 目的とします。



#### 連携事項

- 1. 有機農業の普及に関すること。
- 2. 有機農業に係る技術支援・人材育成に関すること。
- 3. 有機農業を軸とした魅力あるまちづくりに関すること。
- 4. 荒廃農地の普及や新規就農者の確保に関すること。
- 5. 地域自給ネットワークづくりに関すること。
- 6. その他, 持続可能な町づくり, 食と農とくらしを守るために必要な事項に関すること。



## 新規就農者支援の取組み ~育苗ハウス~ 育苗ハウス

有機苗の供給(玉ねぎ、なす、きゅうり、トマト、ミニトマト、かぼちゃ、ピーマン、さつまいも、他)









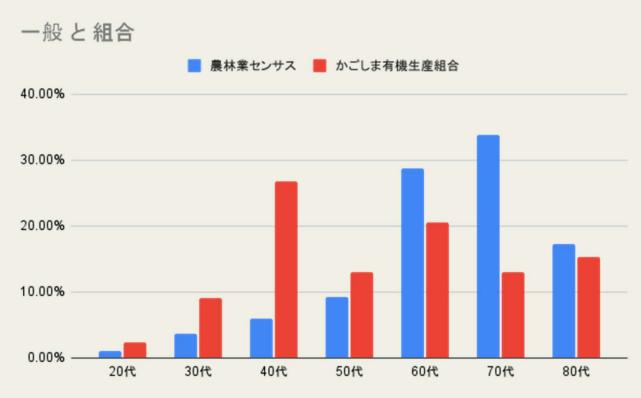


2009年に育苗事業を開始し、 有機の苗を提供しています。

鹿児島県では有機農業が盛ん で、新規就農者の2割以上が 有機農業を選択していますが、 有機苗の生産・入手が困難で あり、規模拡大の足かせとなっ ています。これを解決するため 2022年から、国のスマート農 業実証事業を受託し、環境制 御技術を導入することで、病害 虫の被害は最小限に抑えつつ、 育苗者の経験に頼ることなく、 高品質な有機苗を安定供給 する技術を実証することで有機 農業の産地形成に寄与してい きたいと考えています。



### 新規就農者支援の取組み 組合生産者年代別分布



両データとも令和2年の調査結果

一般的な農業者は高齢化が進み、60代以上が中心になっているが、かごしま有機生産組合は40代が中心になっている。 UターンやIターンの新規就農者が多く、就農者支援の仕組みが効果を上げている。

## 販売事業



#### 販売事業

約160軒の生産者が生産した有機野菜を全国の生協や流通業者に卸販売しています。

年間カレンダー(一部抜粋)





# 規格外品を無駄にしない取組み ~加工事業部~

# 69

#### 私たちの加工商品にかける想い



組合生産者の有機野菜をつかった加工品ブランドが「地球畑Original」です。化学調味料、保存料等を使用しない。素材を活かし、加工でごまかさない商品作り。自社工場は全国的に希少な有機JAS認証取得工場です。

国産有機農産物の生産量は未だ1%にも満たず、それを原料にした有機JAS加工品はごく ごくわずかな貴重なものです。商談会でも毎回関心の高まりを感じますし、国産有機を求 める声は海外からも届きます。誰もがオーガニックなライフスタイルを「選べる」社会を 目指します。

商品としては、オーガニックベビーフードをはじめ、乾燥(フリーズドライ)有機野菜を用いて当社ならではのストーリ性ある加工品をグローバル・フードバリューチェーンと位置付けて商談を実施しバイヤーへ提案を行っています。

かごしま有機生産組合は安全でおいしい有機農産物の生産・販売に取り組んできた。それ は消費者の生活や健康が、より健全なものであるようにとの願いからだった。有機農産物 の作り手と売り手は、相互に理解し合い、思いを共に連携していく。

生産から輸出までの一貫した取り組みを行う中で、加工品に関しては、今後需要の変化に対応した商品づくりを行い、輸出に対応した認証、先ずはHACCP工場として新加工場建設を行う。



地球畑のオーカ"ニック ベビーフード





有機米と旬の有機野菜を使った、 素材の味をそのまま味わえる離乳食です。 おうちで手作りしたような、 素材本来のやさしい味わいです。

# インターネット販売事業





Kagoshima Organic Farmers Assoc.

地球畑【公式】オンラインショップ

ようこそ有馬完様

ログアウト

マイベージ

TEL: 099-202-0145

(土日祝除 < AM10:00~17:30) E-mail: shop-c@chikyubatake.jp **野** ショッピングカート

現在の中身: 0点

ホーム

商品一覧

ショップについて

ご利用ガイド

お問い合わせ

無料の新規会員登録で、すぐ使える500円分ポイントもらえる!

SEARCH

商品名、型番などで検索!



地球畑通信や スタッフコラムを掲載中

CATEGORIES

すべての商品

ABOUT このショップについて



インターネット通販事 業は2013年に開始し、 公式サイト「地球畑オ ンライン」のほか、楽天 市場、yahooショッピ ング、メルカリshops、 Amazonなどにも出 店している。



## 輸出の取組み

アジアを中心に10か国以上に輸出実績。 海外の食品展示会にも積極的に出展。

#### 英語版の商品パンフレット



Numerous farmers together supply great diversity of organic food.



ORGANIC FARMERS KAGOSHIMA SINCE1984

It is a famous organic agricultural production place in Japan, with 160 farmers' associations, the largest number of farmers in Japan

Kagoshima organic farmer's association is formed under the association of 160 farmers farming mainly in Kagoshima prefecture and some areas of Southern Kyushu.

Their cultivation methods involve no chemical fertilizer and pesticide. Annually, a wide diversity of high quality organic agricultural products, which entirely certified in accordance with the organic JAS (Japanese Agricultural Standard) are brought to market.

In addition, on each area of Kagoshima, we established several farms, and each farm is in charge producing one among different products such as root crop and fruit tree crop. Every day, we try our best the to be able to produce delicious and healthy agricultural products.







We aim at sustaining the whole quality and the purity of raw material especially during the processing.

Also, with the joint efforts of entire farmers and food processing workers, we ensure the safety and the healthiness in the final product. Our products are developed by staff of the store Chikyubatake, which is put under the direct management of Kagoshima organic farmers' association.

The notable characteristic of our products is the maintenance of the entire essence of raw materials and the complete exclusion of additives, preservatives, and other artificial substances.



We are producing at our own organic certified factory.



## 輸出の取組み

#### 現地の商標登録



59523730 号

商标注册证

地球畑

#### 核定使用商品/服务项目(国际分类:5)

第5类: 人用药;护肤药剂;维生素制剂;医用营养品;营养补充剂;婴儿食品;婴儿奶粉;花粉膳 食补充剂; 动物用膳食补充剂; 婴儿尿布(截止)

注 册 人 有限会社鹿儿岛有机生产组合 Kagoshima Organic Farmers Association Inc.

注册人地址 日本国鹿儿岛县鹿儿岛市五别府町3646番地 3646 Gokabeppucho, Kagoshima, Kagoshima, JAPAN

注册日期 2022年03月28日 有效期至 2032年03月27日







誠實·效率·品質

臺灣104臺北市南京東路二段206號 國揚萬商大樓11樓之1

11F.-1, Kuo Yang Wan Shang Building, No. 206, Sec. 2, Nanjing E. Rd., Taipei 104, Taiwan

\* Wisdom

International Patent & Law Office

維新國際專利法律事務所 Wisdom<sup>®</sup> and **■B** \* are registered trademarks of Wisdom International Fatent & Law Office.

Honest · Efficient · Excellent

Tel: +886-2-2508-2466 Fax: +886-2-2508-2376 Website: www.wisdomlaw.com.tw E-mail: info@wisdomlaw.com.tw wisdom@wisdomlaw.com.tw

#### 中華民国商標登録証

登 録 番号: 02220867

権 者 : 日本企業・有限会社かごしま有機生産組合

KAGOSHIMA ORGANIC FARMER'S ASSOCIATION

称: 地球畑

商 標 見 本:

利 期 間: 2022年5月16日から2032年5月15日まで

分 : 商標法施行細則第 19 条

商品又は役務名称 : 第5類

ベビーフード; 乳児用粉ミルク; 乳児用の栄養補助食品; 乳児用調製粉乳;離乳食の缶詰;ベビー小麦粉;ベビービ ーフン:栄養補助食品:ダイエットサプリメント:植物セ ルロース栄養補助食品;食物繊維サプリメント;ビタミン サプリメント; ビタミンやミネラルを含む栄養補助食品

経済部知的財産局 局長 洪淑敏

2022年5月16日

Page 1 of 2

## 有機農業の国際支援の取組み



JICAの草の根技術協力事業において外部人材として参加。

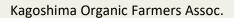
農薬が過剰に使用され健康被害の危険 性が高い地域において、農薬に頼らず、高 付加価値がある有機人参の栽培指導を 各地でおこない、農家の自立も促進した。

#### ラブグリーンネパール- ラブグリーンジャパン JICA 草の根技術協力事業(パンチカール) 有機によるにんじんの試験栽培レポート

S.N.	畑の場所	面積	植栽日	収穫日	灌漑 回数	施肥	植栽間隔	厚さ (1 本)	長さ (1 本)	重さ (1 本)	生産量	問題点
1	Panchkhal-1 (三箇さん)	17 m²	2018/11/29	2019/4/4	7 回	30 kg	7 cm	14 cm	16 cm	140 g	16 kg	
	Dulalthok						10 cm	15 cm	17 cm	175 g	17 kg	
2	Panchkhal -1 (デビ)	17 m²	2018/11/29	2019/4/4	7 回	40 kg	7 cm	17 cm	20 cm	180 g	29 kg	
3	Baluwa	18m²	2018/11/30	2019/4/11	5 回	30 kg	5 cm	15 cm	18 cm	175 g	27 kg	3 亀裂
							7 cm	17 cm	19 cm	210 g	31 kg	4 亀裂
							10 cm	19 cm	20 cm	220 g	33 kg	4 亀裂
4	Hokse	30 m²	2018/11/29	2019/4/11	6 回	110 kg	7 cm	16 cm	20 cm	170 g	29 kg	7 亀裂
							10 cm	18 cm	21 cm	190 g	45 kg	8 亀裂
5	Panchkhal -2 Giritol 10 m²	10 m²	2018/12/4	2019/4/5	4 回	30 kg	7 cm	16 cm	18 cm	155 g	18 kg	2 亀裂
		10 111-					10 cm	18 cm	20 cm	170 g	19 kg	3 亀裂
6	Anaikot	8 m²	2018/12/5	2019/4/13	5 回	20 kg	7 cm	13 cm	15 cm	110 g	8 kg	
							10 cm	15 cm	17 cm	120 g	10 kg	
7	Panchkhal-3 Jhiganpur	30 m²	2018/12/5	2019/4/15	10 🗉	00 kg	7 cm	19 cm	20 cm	260 g	45 kg	26 亀裂, 20% 腐敗
							10 cm	20 cm	20 cm	210 g	36 kg	27 亀裂 25% 腐敗









#### ベトナム国 持続可能な有機農業一貫体制構築のための調査

#### 対象国農業分野における開発ニーズ(課題)

- 農産物の安全性の低さ (農薬や化学肥料の使用量増大)
- 農産物の生産コストの高さ (農薬などの投入材の増大)
- 農産物の流通過程での品質劣化
- 有機農産物に対する消費者の認識及び信頼性の低さ

#### 提案製品・技術

- 有機農産物の生産~流通~販売までの一貫したサー ビスの支援、即ち「地球畑方式」である。
- 「地球畑方式」には、有機農産物の高度な生産・加 工・流通・販売技術、生産者の組織管理及び生産・ 販売体制管理、品質保証制度の開発、有機農産物の 普及・啓蒙、社会的弱者のエンパワーメントが含ま れる。

#### 本事業の内容

- 契約期間:2022年9月~2023年10月
- 対象国・地域:ダクラク省クムガー郡、ハノイ市、 ホーチミン市
- カウンターパート機関:ダクラク省農業・農村開 発局、郡人民委員会
- 案件概要: 「地球畑方式」導入によるビジネスモ デルの開発に係る案件化調査。有機農業により契 約農家の生産コストの低減や販売収入の向上、ま た流通における鮮度保持に係るノウハウによる生 産者及び当社の更なる収入の向上を目指す。更に、 高度な加工技術・ノウハウや販売方法の多様化 (直営店、卸販売、EC取引)により高収益モデル の確立が期待される。







**2** 飢餓を ゼロに







**10** 人や国の不平等 をなくそう





## オーガニックで未来をつなぐ

あまねく生命が共存・調和する、かけがえのない地球を 未来へつないでいきます。

つくる人、つなぐ人、食べる人がその恵みをわかちあい、

いきいきと暮らせる社会をめざします。

有限会社 かごしま有機生産組合

